

## ひと・夢・まち 町長コラム

### 郷土の誇りを未来に……（令和5年6月号）

田植えを終えた水面に美しい山々を映し出す季節となり、世の中も徐々にアフターコロナに向かって動き出しているようです。

日本へのインバウンドは増え始め、国内外旅行の交流人口、地域における関係人口も活気を取り戻しています。山形県内にも日本の伝統文化を体験できるコースを求めて来形する観光客が多くなっているようです。

そのような中、わが町では4月に八坂神社で大例祭が行われ、お神輿<sup>みこし</sup>が練り歩き、お神楽<sup>かぐら</sup>も家々を回り、厄を祓ってくれました。5月3日には豊田の各地区・達磨寺・向新田地区の神社例大祭が行われました。豊田の5つの地区では、4年ぶりとなる子ども神輿の巡行やお神楽による厄払いが再開され、にぎやかな子どもたちの声が沿道に響き活気をもたらしていました。関係している大人からは声援や拍手が飛び、久々のにぎやかな雰囲気、私も、清々しい朝に新たな夜明けを眺めるような気持ちが湧き上がってきました。伝統を守り続けている地域の方々に感謝です。

「郷土の誇りを未来につなぐ

人が輝く健幸のまち なかやま」

～思いやりの絆で築く

みんなの想いが響くまち～